



# SUN SUN GUARD 20

産業用太陽光発電向け O&M(Operation and Maintenance)

『緑化マネジメントシステム』『杭基礎非破壊調査』サービスを開始！

野原産業(本社:東京都新宿区、代表取締役社長 野原数生)は産業用太陽光発電システム向け O&M (Operation and Maintenance) 事業【SUN SUN GUARD 20】のメニューとして『緑化マネジメント』と業界初『杭基礎非破壊調査』を追加し4月1日よりサービス開始します。

## 『緑化マネジメント』概要

産業用太陽光発電システムは長期間の維持管理が必要とされ、特にメガソーラーなどの大型地上設置発電所では雑草対策費用が年々増大し、事業収益の負担となっております。さらに近隣からの苦情や外来種植物などの法令対策が大きな問題となっています。また、草刈機などでの高圧ケーブル破損事故、飛び石によるパネル破損も発生しています。そこで、道路・鉄道・ゴルフ場・緑地等の維持管理技術を応用し、草刈作業よりも廉価で、発電量低下の原因となっている雑草を有益な植生に変える、まったく新しい工法「緑化マネジメント工法(3NT工法)」を開発しました。

### ◆共同開発企業

日産緑化株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役 藤井常宏)

株式会社ニチノ緑化(本社:東京都中央区、代表取締役社長 廣瀬薫)

大信産業株式会社(本社:広島県尾道市、代表取締役社長 田中公浩)

### ◆緑化マネジメント実施イメージ



植生調整・転換

雑草を植生調整・抑制転換



影による発電量低下防止、土砂流出防止、表面温度低下、外来種対策、廉価で標準化、パネル汚れ防止、安全安心

## 『杭基礎非破壊調査』概要

長期間稼動するメガソーラーを代表とする地上設置産業用太陽光は基礎が重要です。しかし、強風により倒壊する事例もみうけられ基礎の重要性は増えています。今までは地中に埋設した杭基礎を調査するには解体する方法しかありませんでした。そこで当社は国土交通省で採用されている非破壊検査技術を応用し、太陽光発電所向けに『杭基礎調査』を開発しました。

## ◆調査内容

調査方法	超音波調査機	
調査項目	根入れ深さ	ラミング工法 地中に打設 C型、H型、丸型等鋼製杭
	路面境界部(地上面下数cm)	
	腐食損傷程度	
調査費用	36,000 円/本(定価)	消費税/出張諸経費別途

## ◆非破壊検査イメージ



## 【会社概要】

野原産業株式会社

本社: 東京都新宿区新宿 1-1-11

設立: 1947年9月11日 資本金: 6億1,210万円

代表取締役社長: 野原 数生

URL: <http://www.nohara-inc.co.jp>

株式会社アークノハラ(杭基礎非破壊調査 会社)

野原産業 100%子会社

本社: 東京都新宿区新宿 1-1-11

創業: 1987年8月3日 資本金: 5,000万円

代表取締役社長: 赤川 喜和

URL: [http:// arc-nohara.co.jp/](http://arc-nohara.co.jp/)

## 【製品に関する問合せ先】

事業開発部

TEL: 03-3357-7761 FAX: 03-3357-2568

E-mail: [ssg20@nohara-inc.co.jp](mailto:ssg20@nohara-inc.co.jp)

担当: 増田 幹弘

URL: <http://pv-om.nohara-inc.co.jp/>

## 【本リリースに関する問い合わせ先】 事業開発部

TEL : 03-3357-7761 FAX : 03-3357-2568 E-mail : [stra-info@nohara-inc.co.jp](mailto:stra-info@nohara-inc.co.jp)